

防災備蓄品 ご購入サポートサービス

こんなお悩みはございませんか？

悩み1

何をどのくらいを
購入すればよいか分からず

- 備蓄品として何を購入しておけばよいのか分からず
- どのくらいの量を備蓄品として用意しなければならないのかはっきりしない
- どこから購入すればよいのか分からず

悩み2

保管場所をどうすれば
よいか分からず

- 備蓄品を保管したいと考えているが、社内に空きスペースがないため、どこに置けばよいのか分からず
- 災害時になるべく取り出しやすいようにしたいが、どこに収納すればよいのか分からず

悩み3

サービスを比較検討
しているが、価格が見合わない

- 法人向けのサービスをいくつか比較しているが、社内の予算感に合わない
- 他社サービスは一括購入のため、必要量によって価格を調整できない

防災備蓄品の購入/保管に関するお悩みを解決します！

ユニット1Dayレスキュー

備蓄品専門ECサイトで購入することができる1日1人分の備蓄品をまとめたボックス

期限のある内容物のみを入れ替えることが可能なため、入れ替え時のコストを削減

A4サイズのためデスクやロッカーに収納可能で、保管スペースと緊急時の配付の不安を解決

特長
1

入れ替え時のコスト削減

期限のある外側(OUTER BOX)だけを入れ替え、期限のない小箱(INNER BOX)を継続使用することで、コストを約2/3に抑えることができます

特長
2

保管スペース削減 & すぐに利用可能

被災直後でも配布を待つことなく即利用可能配布や保管・管理のロード削減が可能
保管用のスペースの確保が不要・削減される場所を忘れてしまうリスクも低減

特長
3

品目選定の悩みを解消する 3つのバリエーション

INNER BOXに選べる3つのセットをご用意
ベースの「基本」に加え、帰宅支援用の「帰宅」、滞在支援用の「宿泊」を選択可能

INNER BOX
基本

必要なものを詰め込んだ
ベーシックタイプ

INNER BOX
宿泊

非常用トイレを増量し、
衛生用品を加えた宿泊タイプ

INNER BOX
帰宅

ポンチョやホイッスル、スマホ
充電器を備えた帰宅タイプ

備蓄例

ユニット1Dayレスキューを使った防災備蓄

国や自治体のガイドラインでは、「3日分の非常用備蓄用品」を備えることが企業の努力義務として定められています

1日分をユニット1Dayレスキューで、2-3日分を個別の食料品・飲料水・簡易トイレで備える備蓄方法をオススメします

ユニット
1Day レスキュー



+

2-3日分の備蓄



どのくらいの防災備蓄が必要?

対応したい日数・人数・予算に応じて、数量をご調整ください



導入コストイメージ

ご用意している製品別の参考価格は以下の通り

1日分	2-3日目分		
ユニット1Dayレスキュー	食料品	飲料水	トイレ
1人1日分の防災備蓄品セット	アルファ化米等 ×3食 ×2日分	飲料水500ml ×6本 ×2日分	簡易トイレ ×5回分 ×2日分
＼まずはこちら! / 4,608円 / 1人1日	2,400円 / 1人2日分	2,088円 / 1人2日分	1,550円 / 1人2日分
6,038円 / 1人2日分			

ユニット1Dayレスキューと追加の食料品・飲料水・簡易トイレを組み合わせて
3日分購入すると1人当たり10,646円

購入方法

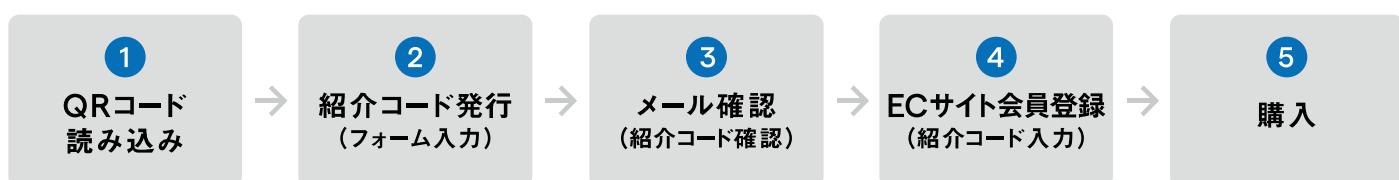
備蓄品専門ECサイト

東京海上レジリエンスのパートナー企業である
レスキューナウ社のECサイトをご紹介

紹介コードは
こちらから



紹介コードの入力により、通常価格の5%割引



お問い合わせ先

FPネットワーク有限会社

ソリューション提供企業



東京海上レジリエンス

東京海上日動のソリューション事業紹介HP

<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/solution/>

当社は提携企業の商品・サービスを紹介するものであり、紹介先企業および商品・サービスの品質等について何らの保証を行うものではなく、当社は何らの責任を負いません。



東京海上日動

～お客様や社会の“いつも”を支え、“いざ”をお守りします～